

令和元年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 公益財団法人 福島県下水道公社	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 業務部企画管理課 主査 竹山智久 TEL 024-524-3510 FAX 024-524-3513 E-Mail kikakukanri01@fspc.or.jp
代表者氏名 理事長 杉 明彦	

部門名 行政部門	事例名 見て！読んで！楽しい！まんがで学ぶ下水道～子供目線で広める下水道の魅力～
-------------	---

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

- 情報発信として季刊誌を2002年より発行（**見てもらう工夫の発掘**）
年数を重ねるとHPで掲載している記事がマンネリ化
⇒ **手にとってもらえる広報が必要！**
- 下水汚泥放射能問題の発生（**施設見学者数 約1/10に減少**）
「下水道」に対する負のイメージが一般に強く印象付けられる
⇒ **下水道から明るい話題の発信が必要！**
- 下水道事業の進捗（**下水道があって当たり前になりつつある**）
将来ユーザーとなる子供たちへ下水道の効果をどう伝えるか
⇒ **見て、読んで、楽しい広報資源が必要！**



トントン拍子に進んだことでタイトルを決めていなかったことに掲載後に気がつくというミスも…

「下水道まんが」による情報発信

一般の方々に「下水道を知ってもらおう」ことからのイメージの改善【ポイント1】

公社業務（下水道統計をビッグデータによる解析依頼）でパートナーとなった方のご夫人（県内在住）が漫画家という幸運！
（連載中に作者のまんがが実写ドラマ化し大ヒット）

【ポイント2】
作者の方も「下水道」に精通している訳ではないので、下水処理場の見学（小学校以来）をしてもらい、その時感じたことを率直に表現していただきました。

【ポイント3】
呼ばれたのは日本の高度成長期と時代と
※今から50年位前だよ
・難しい言葉はネームの段階で校正！
注）漫画のラフの段階をネームとします。
・子供が読みやすいよう漢字にはおレビ



クリアファイル

パネルに子供たちは興味津々

水平展開として施設見学で来場する小学生への記念品（クリアファイル）配布の利用、パネルを出前講座や啓発イベントで展示するほか、市町村及び学校への貸出事業など幅広く活用している。

まんが効果
施設見学者数 UP!
HPアクセス数

エントリー事例の特徴

- ◆当初より作品を重要な広報資源と考え、公社季刊誌への掲載から**広報資材への転載までを考慮した**契約内容、作品内容とした。
- ◆まんがの中で使う言葉は専門用語を避け小学生でも理解できるようにし、作者の作風を活かして1話ごとに**四コマ風のオチ**をつけて「読んでおもしろい」ものとなるよう心がけた。また、下水道の専門的な表現には作者へ助言を行い、連携して制作した。
- ◆処理場編4話のあと、二期目からは下水道の「奥深さ」を紹介する内容とすることで**“飽きられない” 広報資源を継続**している。また、グッズ化したことで活用の幅が広がり、利用者増の効果を生み出している。
- ◆小学校での出前講座では児童から先生まで楽しみながら学ぶことができる教材として活躍しており、「**まんが**」は子供から大人まで幅広い年齢層へ**アピールできる力のある素材**であることを再確認した。

付属資料の提出	あり ・ なし （どちらかに○）
---------	------------------